

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90247 (90218)	日本芸術文化学研究B (民族芸術文化学研究A)	2単位 後期 (4単位 通年)	1・2	講義	波平 八郎

※平成27年度以降の入学生：「日本芸術文化学研究B」を登録すること。

※平成26年度以前の入学生：「民族芸術文化学研究A」を登録すること。同一年度内に「日本芸術文化学研究A」（2単位）、「日本芸術文化学研究B」（2単位）の両方を履修して「民族芸術文化学研究A」（4単位）に読み替える。

■テーマ

日本文学作品の講読

■授業概要

【題目】日本文学作品の講読

作品は基本的にはテキストであるが、写真や絵画、映画などさまざまな形式も想定される。

今年度も受講生の興味・関心に応じて作品を選定する。

■学習目標

文化研究、文学研究の理論に基づいて作品を分析できるようにする。

■授業計画・方法

文学作品等を逐条講読する。受講生は当該作品について授業中に自身の意見を発表する。

なお、講読するテキスト等については、受講生の専門分野を勘案して、受講生と協議の上決定する。

作品が「近世文学」だった場合は、次のような流れで授業を進めていく。

[後学期]	
1	後期オリエンテーション
2	西鶴の作品（1）『好色一代男』
3	西鶴の作品（2）『好色五人女』
4	西鶴の作品（3）『日本永代蔵』
5	俳諧について
6	俳諧の式目（ルール）
7	俳諧の理論（1）『去来抄』
8	俳諧の理論（2）『三冊子』
9	芭蕉の作品（1）俳諧
10	芭蕉の作品（2）俳文
11	芭蕉の作品（3）「おくの細道」（前半）
12	芭蕉の作品（4）「おくの細道」（後半）
13	漱石の作品（1）『吾輩は猫である』（近代文学）
14	漱石の作品（2）俳句
15	まとめ・レポート提出

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

レポートは、前・後学期それぞれ関心のあるテーマをテキストから選んでレポートする。

■成績評価の方法・基準

平常点（50%）、レポート（50%）を総合的に判断する。

芸術文化学研究科（博士課程）の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献（作品）等

□教科書 なし

□参考文献

時代別日本文学史事典編集委員会『時代別 日本文学史事典 近世編』（東京堂出版）・その他適宜指示する。